

民青まんぶくプロジェクト 香大工学部前

香川県の民青同盟は11日、高松市の香川大学工学部前で学生支援に取り組みました。同場所では二回目の取り組みです。



「学内のクラスターに不安だ」「卒論やフィールドワークの県外実施がむづかしい」「満足に実習できるか不安だ」などの声が寄せられました

2021年平和大行進 県境から徳島へ

2021年国民平和大行進は9日、香川県境から徳島県へ向けて行進が始まりました。

出発式で、香川県原水協の岩部乃之筆頭代表理事は「コロナ禍の中の平和行進です。核兵器廃絶の願いを香川までつないでほしい」とあいさつしました。行進は徳島から高知、愛媛の各県を経て香川県



観音寺市には6月20日に入ります。7月4日に東かがわ市で終結する予定です。

三豊市が無料で抗体検査 市民ら対象

三豊市は新型コロナウイルスの感染の有無を調べる抗体検査を、希望する市民らを対象に無料で受けられるようにします。PCR検査に相当する高い精度が期待される抗原検査です。当面の間の予定

内でも連日感染者が出ています。踏まえました。日本共産党の岩田秀樹市議は「いまままで、党や革新



対象は市民と、市内の事業所や学校に通う県民。自己採取した唾液を使う検査と、市立病院での検査があります。検査費用は市が負担し、3000万円を準備費からあてます。

懇で市民とともに要望し続けたことが通じた。4月は検査の拡充を2回市に要望し交渉した。無料ですることにより無症状感染者を早期に確認し、重症化や感染防止を食い止めれば、市民に知らせていきたい」と話します。

生理用品の無償配布を 高松党市議団ら申し入れ

日本共産党高松市議団は7日、市民派改革ネットとともに市長、教育長に生理用品の無償配布を求めて申し入れを行いました。

コロナ禍、失業や収入の減少、「保護者のネグレクト、配偶者によりDVを受けるなどから『生

理の貧困問題が顕著になっています。

申し入れは、①自治体窓口での無償配布、②市の公共施設や学校に返却浮揚の生理用品の配置、③防災用品として備蓄している生理用品の活用です。県内では三豊市と坂出市が備蓄品を配布して

います。市側は「何ができるか検討する」と答弁しました。党市議団は「前向きに検討するように」と強く求めました。



連休中に学習深める 東部地区委員会

日本共産党東部地区委員会は、ゴールデンウィーク中の4・5両日、地区党学校を開きました。地区主催は30年ぶりです。

主義と党史で受講者は2日間で33人です。それぞれの課目は地区委員がすべて担当しました。参加者からは「大変久しぶりに開催したがよかった」「少々難しかったが搾取の仕組み

みがよく分かった」「さらに開催してほしい」などの感想が出されました。新入党員3人が参加し、うちひとり



「科学的社会的な学習でよかった。独習していた理論であることが分かった。独習していた」と感想を述べています。

開催後地区委員会は、「開催前には（連休中ということもあり）戸惑いがあったが開催し

てよかった。党員の強い学習要求に応じて、

you気 りんりん

四国ブロック国政対策委員長 白川よう子

「朝令暮改」ならぬ「朝令昼改」。政府は方針を転換して北海道、岡山県、広島県に緊急事態宣言の適用を決めました。後手・小出しの繰り返しは、菅政権の感染実態に対する危機感の欠如そのものです。

まず、各所で事業者に時短要請が出されるなど、事業や生活への影響は全国で広がっています。持続化給付金や家賃支援給付金なども全国ベースで行うことが必要です。

検査が無料（国費）で受けられると言っています。調べてみるとウィーンではかなり前からPCR検査や抗原検査が行われているようですが、例えば美容室など身体に接触するよう

な場合は、顧客自身が48時間以内の陰性証明を持参しなければならぬと聞きました。症状がない場合は指定された街中の薬局で抗原検査を無料で受けることができます。

いわばPCR検査などが「日常」になっているのです。

徳島県や香川県が要請していた「まん延防止等重点措置」の適用も、まだ「まん延が足りない」とでも言わんばかりに見送り。そもそも緊急事態宣言、まん延防止等重点措置、その他の地域に分かれる複雑な仕組みに何の意味があるのかわかりません。宣言や重点措置区域にとどま

先日、ニュース番組にリモート出演していたオーストリア在住の邦人女性の言葉に驚きました。仕事上ミーティングがある、個人的に友達と会う、こういう時にいつでもPCR



香川県三豊市が独自に抗原検査を始め希望する人は無料で受けられます。本来は国がやる仕事です。

業者後援会四国のつどい 香川でも視聴

日本共産党の四国ブロックが16日、四国4県で取り組んだオンラインでの業者後援会のつどいで、香川県でも各民商で視聴しました。

「業者後援会が営業と生活を守るためにたかかってきたが、いま四国で身近にたかかってくれる国会議員がない。今度こそ業者の見方である共産党の国会議員をがんばろう」と開催されました。



白川よう子衆院四国ブロック比例候補は「四国じゅうをくまなく歩いて業者の思いを聞いてきました。私も商店街で生まれ育ち、商店街や地域の思いを大切にしてきました。どの地域で営業しているもきちんと対応していき、生業がやっつけける保証が大切です。コロナ禍で苦しんでいる業者の声をストレート

に届けてほしい。頑張りましょう。決意表明で香川の伊藤明で香川会長の「菅政権の暴走を止めないといけない、何より命を大切にしたい。全力を尽くす。野党共闘も目に見えるようにならないといけない」と話しました。

清水忠史衆院議員が、検査体制の拡充や東京五輪の中止などコロナ禍での4つの提案や、ジェンダー平等など「新しい日本を目指す5つの提案」を紹介しながら業者を守る大切さについて語りました。